

直下型デジタル業務改革 基本計画策定・実行支援サービス

経営直下のプロジェクト体制による抜本的な業務改革

経営環境の急速な変化を背景に、事業のレジリエンス（変化対応力）の具備と、新たな価値創出のための余力創出が急務となっています。アビームコンサルティングは、経営直下のプロジェクト体制のもと、現場リーダーを巻き込んだ、全社視点かつ部門横断的な検討を推進することで、既存事業における抜本的な業務の効率化とデジタル化を支援します。

業務改革の重要成功要因

業務改革のよくある失敗例として「改革効果が小さい」「改革が一過性に終わる」などが挙げられます。これらの失敗を避けるために、業務選定・施策策定・体制整備において、重要成功要因を踏まえた改革手法が必要となります。アビームコンサルティングは重要成功要因を踏まえつつ、経営層と現場、事業部門とIT部門を繋ぎ、双方向の議論をファシリテートします。

よくある失敗

改革効果の小さい業務が選定される

- ・現場の意見が優先され、取り組み易いだけの目先業務が改革対象とされている
- ・小粒業務を対象に、改善を積み重ねても全社で数%の削減効果しか発現されない

現行踏襲な改革施策しかでてこない

- ・業務目的を再定義せずに、現行業務を正当化
- ・現行業務をデジタル化するだけでは、大きな効果が発現されない

変革の担い手の体力・能力・気力がない

- ・兼務メンバーが定常業務に忙殺され、改革スキルを学習できず、改革をリードできない
- ・危機感や改革を成功させる自信を持たず、次第に変革にコミットしなくなる

業務改革の重要成功要因

1 経営層が業務領域・改革テーマを選定



- ・プロジェクト主導で組織横断的に業務分析
- ・業務選定に経営層が強く関与し、20~30%以上の改革効果を狙う

2 プロセス・ルールに踏み込んだ抜本的な業務見直し



- ・廃止・簡素化といった業務の抜本的な見直し
- ・デジタルと人との新しいプロセスを創造

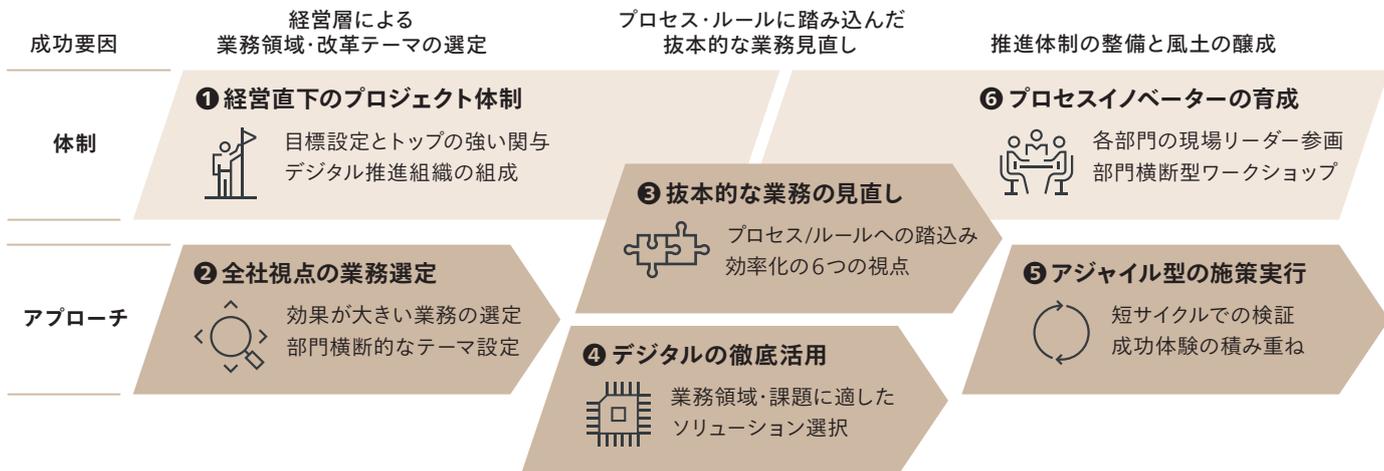
3 推進体制の整備と風土の醸成



- ・推進組織の組成と、デジタル知見・改革ノウハウの学習
- ・成功体験の積み重ねによる改革を当たり前とする風土醸成

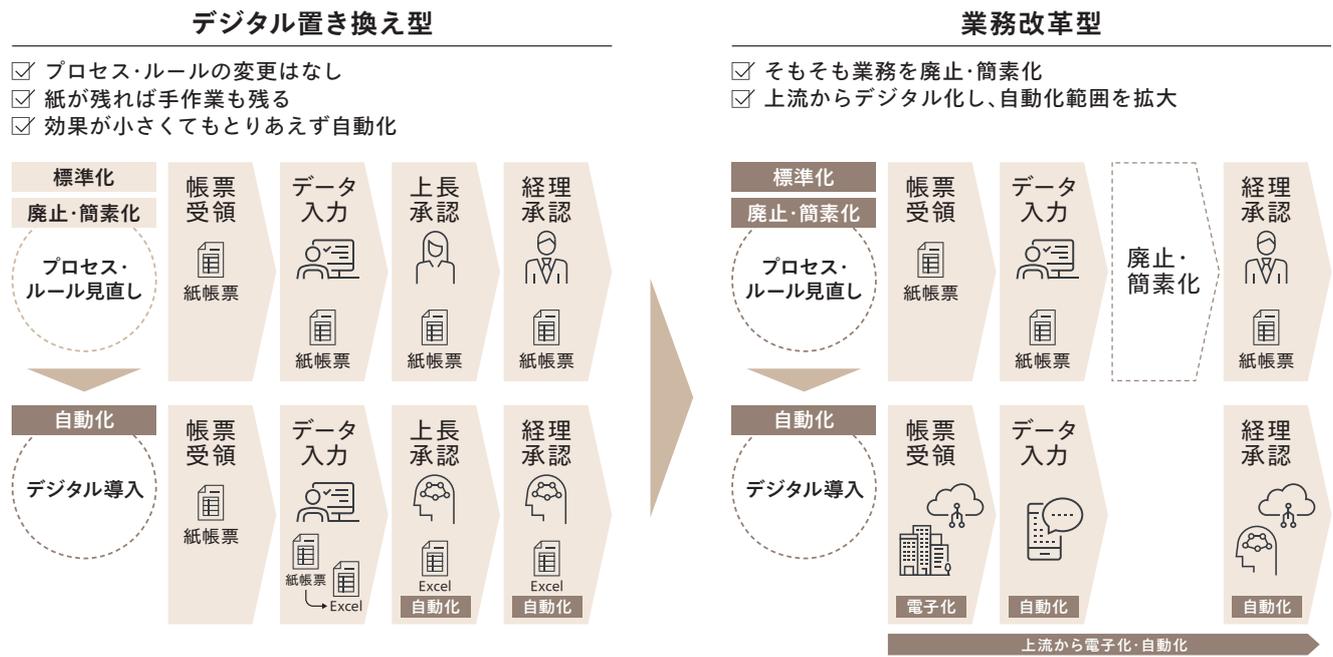
直下型デジタル業務改革の体制とアプローチ

アビームコンサルティングが支援する「直下型デジタル業務改革」は、業務改革の重要成功要因を踏まえた改革手法です。2つの体制上のポイントと、4つのアプローチ上のポイントを押さえながら、クライアントの改革を支援します。



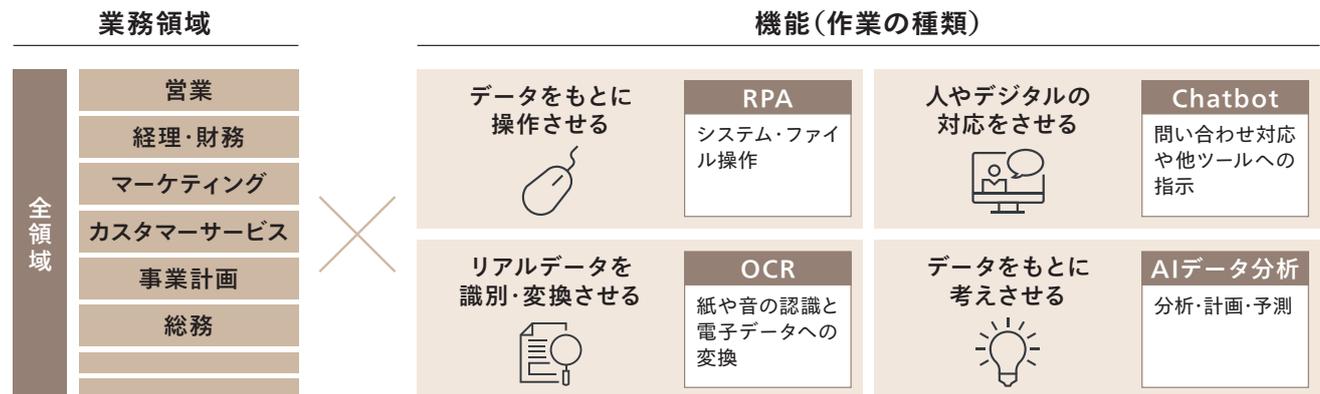
プロセス・ルールに踏み込んだ抜本的な業務の見直し

大幅な改革効果を得るためには、現行業務をそのままデジタルに置き換えるのではなく、廃止・簡素化など、プロセス・ルールまで踏み込んだ業務の見直しが必要です。アビームコンサルティングは、これまでの業務改革で培った豊富な業界・業務の知見に基づき、業務課題とその原因を特定し、部門横断的な議論によって抜本的な業務の見直しを図るとともに、デジタルを最大限に活用した効率化施策を立案します。



業務と目的に適合したツールの選択

デジタル化する業務領域や作業の種類によって最適なデジタルツールは異なります。アビームコンサルティングのコンサルタントは業務改革の知見に加えて、RPA・OCR・Chatbot・AIデータ分析といったデジタルツールの導入も可能なスキルを備えています。



アジャイル型の施策実行とプロセスイノベーターの育成

直下型デジタル業務改革では、パイロット部署から先行して改革検討し、アジャイル型で施策を実現していくことで、施策の有効性を高めると同時に現場の改革風土を醸成します。また、各部署の現場リーダーに「プロセスイノベーター」としてプロジェクトに参画いただき、現場を巻き込みながら改革を推進することで、業務改革に必要なマインドとスキルを身に付けていただきます。アビームコンサルティングは業務改革の推進と並行して、人材育成・風土醸成を支援し、一過性で終わらない連続的な改革へと導きます。

